

会議名	第4回新城地域協議会		公開
日時	令和4年6月30日(木) 午後7時00分～午後8時25分	場所	市役所本庁舎4階 会議室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、矢賀美紀代、浅田京二、伊藤哲夫、清水利高、 今泉澄夫、佐本達俊、高木猛至、丸山哲也、中川享子、今泉克英、 松井利文、後藤國與、鈴木雅晴、篠宮千栄子、大瀧章義、村田博和、 今泉栄、畠山恵美子		
	(事務局) 市民自治推進課：加藤参事、白頭主任 新城自治振興事務所：笹田所長、大岩主任		
欠席者	今泉光俊、浅岡勝	傍聴者	なし
配布資料	次第、令和5年度新城地域自治区予算検討イメージ、新城地域自治区予算の進め方、第1回地域自治区予算分科会報告、地域自治区予算について、新城市地域自治区予算事業計画策定要綱、令和4年度実施地域自治区予算事業計画、令和4年度への引継ぎ事項について、しんしろ地域計画(抜粋)、新城地域計画実施予定事業一覧		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名(今泉栄委員、畠山恵美子委員)</p> <p>2 説明 (1) 地域自治区予算について 地域自治区予算の建議までの流れや地域自治区予算の検討スケジュールについて、資料に沿って事務局から説明した。</p> <p>3 議事 (1) 地域自治区予算の方針について 5月26日(木)に開催された第1回地域自治区予算分科会で決定された方針のとおり地域自治区予算を検討していくこととなった。</p> <p><主な意見> (委員) 入船の中でも防犯カメラが欲しいという話があり、設置はよいがデータ管理を誰がやるのか、毎日見ないといけないのかというような話があった。じろいである。 (委員) 本町の場合は2ヶ所あるが、管理の運営は区長が持つ等、自分達で要項を作って運営している。区長が鍵を持っているため、たまに警察から見せてほしいと区長のところに来る。要項に基づいてやっているため、大きなトラブルはない。 (会長) 運用については東新町も同じようであり、防犯カメラは連続して録画し</p>
--

て上書きということで1週間程度の分は残っているが、それを誰かが常に見ているということではなく、録画して何かあった場合や警察からの要請があった場合にそのデータを見るというような形で運営している。今2台あるが、1台については2回ほど警察からの協力依頼があり中身を見たが、そのおかげで犯人が逮捕ということが2回ともあったため、役に立っている。もう1台は、モニター形式でいつも見られるが、それも常に誰が見ているということではなく、録画したものを使うという運営である。

(委員) 全市的な計画に沿って決定すべきものは、自治区予算の対象にならないと決まっていると思うが、他の自治区も同じようなことを提案されるのであれば、全市的な需要と考えられるものも出てくると思う。各行政区の要望の7つの事業が、どこの自治区も継続されるなら、全市でもやってもよいような事案もあると思う。例えば防犯カメラや防犯灯等、同じようなものを設置するのであれば、本予算で計画を立ててやっていく方が漏れなくできるため、そのようにして本予算に上がった事例があったか。今ここに色々出ているものが、同じように色んなところから出てくるのであれば、1回市で考えて、市の予算でやっていただくという形も可能なのか。また、年限をかけて少しずつやってよいものと、例えば施設を設置することがあれば、最初にお金をかけて作らないと進まないようなものもあると思う。もうちょっとで終わるもの、全然進んでいないもの、予算を来年度はここに重点的にかけないといけないことを見るためのデータがないと項目だけでは判断できないと感じたため、その辺を説明いただきたい。

(事務局) 市の担当課が本予算でやっても可能な事業もあるとは思いますが、予算に限りがあるため、本予算でやるかどうかは、担当課次第となる。優先順位の関係で、各地域から上がっていてもできない事業もあると思う。データについては、どのようなデータが必要かにもよるが、今後地域計画の見直し等もあるため、準備はしていきたい。

(参事) 全市的な計画に沿って決定すべきものは、例えば学校の建設等財政的にも金額がかかるものや、将来的に何年間かの計画で作るようなものである。また、担当課が画一的に市全体でやることになった事業は今のところない。ただ、市で統一的なルールみたいなものを作ってやるようになったものはある。例を出すと、調整区域ではゴミを出すのに自分の家の近くに出すことができない。車に乗ってかなり離れたところまで持って行くが、そこではカラスの被害に遭うため、ゴミの檻を作るための補助金を生活環境課で整備し、色んな自治区でも対応できるようにするといったものである。

(会長) 協議会によっては子ども達のために色んな予算を使っているが、ある協議会で英語のALTを何人補充するという予算があった。新城市全体の子ども達の英語のレベルを考えるのであれば、教育委員会が主導して全校にALTを何人とすればよいのという思いもあった。市としては各学校にALTを何名ずつ、あるいは規模に合わせて配置する。それが基本的な線ということをやっているのかと思います。さらにその地域協議会では自分達の地域の子どもの英語力をより付けようということで、余分に自治区予算を使ってALTを採用しているような気がしたため、分かったような分からないような部分もある。

(委員) 地域自治区をしっかりとやっている新城市で、地域自治から上がってきたものが市のメイン事業になるのが理想だと思う。要望も含めて、一度、

今までのやった進捗状況等できる範囲で見える形で出していただければ、協議会の活動も評価してもらえらる形になると思う。

(2) 地域自治区予算事業の提案等について

今回出た意見については、地域自治区予算分科会で事業化を検討することとなった。また、各委員に新規事業等を検討していただき、取り上げた方がよいと思われるものがあれば、地域自治区予算分科会の委員に伝えてもらうこととなった。

<主な意見>

(委員) 地域計画分科会では、安全安心、高齢化対策、子育て支援、にぎわいの4つの柱にグループ分けして活動しているが、にぎわい創出事業には新城まちなか映画祭実行委員会、高齢化社会対策事業にはピンコロの会といった継続事業についての実行団体が存在する。その実行団体において、令和5年度の地域自治区予算をどのように見積もっているか、またどのような事業を展開していきたいのか。実行団体の意見がなかなかこの場に表れてこないため、実行団体の代表者もこういった会に参加をするように働きかけていただきたいということと、どの程度事務局が実行団体の意向を汲み上げているかを報告して欲しい。また、子育て茶話会の事業について、小学校PTAと新城・城北こども園を対象に茶話会が開催されるが、保護者から色んな意見が出ると思う。その様々な意見に対して、担当する課で既に実施している、あるいは予算化されていればよいが、予算化されていないものに対しての意見にどの程度、担当する課が対応していただけるのかが見えてこないと思う。したがって、色んな意見が出てこないと思う。したがって、新規事業とは違うが、今までの活動を顧みて、市役所と色んな実行団体、我々の委員会の風通しを良くする方向を考えていただきたいと思う。

(事務局) 自治振興事務所も実行団体に顔を出して、来年度予算をどのように考えているのか等を伺い、見積を作成してもらっているため、団体の意向を踏まえた予算計画を計上していく形になっている。

(委員) 地域自治区予算は地域計画に沿った予算立てを意識していく必要があると考える。実行団体や地域計画を推進していくのに必要な方々、委員以外で協力していただける方達の意見も重要視していかなければいけないと思う。

(会長) 委員の中で実行団体に直接関わっている方は、実行団体等の考えも掴んでおいていただきたいと思う。その都度、話題に上げていただけると大変参考になると思う。

(委員) 営利事業は対象外であるか。例えばにぎわいのためにお食事処の施設を作るような営利事業のために予算を使うことはできるか。

(参事) 地域活動交付金については、営利目的の活動は対象外としている。自治区予算について、市の事業として例えば観光課が道の駅を作るというのがこの地域の要望とマッチした場合には営利もあるため、一概に言えないが、自治区予算を使ってやれる規模の事業ではない。地域計画に、この地域に将来的なにぎわいを作りたいので検討したいといったことを入れていただき、計画的に市と調整をして、市もそれに大きなお金を投入していく場合もあるため、そうすれば可能と思う。したがって、営利は難しいところはあるが、その内容にもよると思う。

(委員) 例えばこの予算では足りないため、クラウドファンディングを立ち上げ

て、他所からお金を持ってきてこの事業をやっていくという動きが可能か。また、「おてつたび」というのがネットである。おてつたびというのは、例えば湯田中温泉で古い旅館をリニューアルして、その拠点を作るために、ある団体が動いており、宿泊代は無料で時給を付ける代わりに、そこに手伝っていただける方を募集するというものである。また、例えば趣味的な意味で、漁師の手が足りないため、漁師をやってみたい人に、宿泊代が無料で多少のバイト代も払うので手伝いに来てくださいということで、町おこしを手伝ってくださいますというようなことが、簡単に申し込めるところがあり、そういう動きをしているところがある。そういうようなことを新規事業として立ち上げるため、例えば宿泊の場所を市から提供してもらおう等、そういう面で公共なものを使うということができるか。丸々予算を使うのではなく、やりたい事業を完結させるために、一部外からの協力やお金を加えることは可能か。

- (参 事) 昨年度、地域計画を推進していくための体制についての話をしており、今、色んなところで始めている。この地域を良くするために、1つの組織を作って、その組織がクラウドファンディングをやることはできるようになると思う。地域協議会委員は実行部隊ではないためそれができないが、そういった団体を作ってやれる可能性があるため、検討していただきたいと思う。そうすれば、市のお金を使うばかりではなく、その団体が色んなところからお金を持ってきて、併せて市からお金が出れば、また別だと思ふ。先ほどの営利について、例えばいずれ起業するための準備といった色んな事業があると思うため、地域計画を検討する中で入れていただきたいと思う。色んな夢のあることが全然できないことではないと思う。
- (委 員) 実際に新城で災害が起きた時に、避難所への避難指示が出ても本当に行くのかと思う。地震の場合でも、今の新しい建築基準で作った新しい家であれば、家が残っていれば避難所まで避難するよりも自分の家で過ごすという人がかなりいるという気もする。そういった時に、自宅で避難する人達に対する支援方法は、この自治区で少し検討してもよいという気はする。
- (委 員) 雨が降った日に孫を遊ばせるところはどこだろうと思った時に、知り合いの人が、豊川に行けばそういう遊ぶ場所がある。奥に行ったらあったが、新城にはないという話をされた時に、天気の良い日は桜淵公園や総合公園等、ちょっと足を伸ばせばあると思うが、雨が降る日についてはないため、これも課題の1つに上がると思った。
- (委 員) ほとんどの物が過去に自治区予算でもらっているため、新規事業に関しては、自分の町内では見当たらない。
- (委 員) 軽トラ市は基本的にイベントではなく、根本的にはまちづくりがあり、20年ぐらい前からまちづくりの色んな形の流れが来て、軽トラ市になったが、そことコラボすることは可能か。例えば空き店舗を活用しながら、まちづくりを大きくしていくという活動は可能か。
- (事務局) 具体的にどういったコラボであるかによると思う。例えばしんしろまちなか映画祭を軽トラ市でPRすること等も1つのコラボである。
- (参 事) 地域活動交付金を使っただけならば、団体が夢のあるような活動が出来る。
- (委 員) 定年後に、畑でも借りて何かやろうかなということがあがるが、新城にも田んぼや畑の休耕地があると思う。そういうのを借りようと思った時に、どこが窓口でどうやったらよいのかが全然分からないため、そうい

った人達が新城に来て、住む方もいると思うため、そういう農業やりたい人を呼び込むような形で何か事業があればと思う。

(参 事) 農業について、新規就農といったある程度の面積の農地を借りて、資格を取ってやるのもあるし、市民農園といった皆が区画を使ってやる等、色んなこともできるため、将来明るくなるような色んな計画を考えていただければと思う。

(委 員) 新城で朝の一定の時間に皆が集まり、ラジオ体操の曲がかかったら体操することをいつか作りたいと思っているが、地域協議会では個人ではなく団体を作り、軌道に乗せるまでの道筋を考えていくということか。

(参 事) 団体を作ることや、やりたい人を集める等、色んなパターンがあるため、それだけと思わない方がよいと思う。

(委 員) 個人レベルではなく、もっと大きな規模にするために、どのようにしていくかを考えるということか。

(参 事) そうするとよい。東郷のように、地域に愛郷心を持ってもらいたいことや、この地域には火の色んなお祭りや火おんどりがあることから、火を身近に感じて欲しいという発想で、子ども達に火おこしイベントに勤しんでもらっている地域もあるため、考えていただきたい。

(委 員) アイデアは色々出るが、実行団体をどうやって作っていくのか、全然イメージが湧かないため、そこまでの過程の想像が全然できない。

(参 事) 実行組織、地域計画推進組織みたいなものを作って人材を確保できるようにする等、次のステップアップとして、それぞれの行政区毎にやっていたものを横の繋がりで、新城地区全体でできるようなことを考えてはどうかと思う。

(委 員) 隣の自治区がどういうことをやっているのかを全く知らないため、他の地区の活動内容が分かる資料をほしい。

4 その他

今後の日程について事務局から連絡した。

(1) 第2回地域自治区予算分科会

令和4年7月14日(木) 午後7時から 新城市役所4階 会議室

(2) 第2回地域計画分科会

令和4年7月21日(木) 午後7時から 新城市役所4階 会議室